2009年1月13日

電気銅生産計画の見直しについて

三菱マテリアル株式会社（社長：井手明彦　資本金：1194億円）は、米国発の世界的な金融危機を背景とした、国内外の実体経済の悪化に伴う主要製品の急激な需要減退を受け、生産・販売の最適化を行うために、本年2月以降に電気銅の減産を実施することといたしました。

記

1. 減産幅
当社直島製錬所、小名浜製錬株式会社（小名浜製錬所）、PT. Smelting（Gresik製錬所：インドネシア）の3製錬所において、操業度を当初計画に対して約10%落とす。

2. 減産時期
2009年2月以降

3. その他
減産の具体的方法・期間については、今後検討する。また、市場の動向により、減産幅を再検討する可能性がある。

（ご参考）
2008年度直島製錬所、小名浜製錬所　電気銅生産実績・当初生産計画

	2008年度上期（4-9月） 生産実績	2008年度下期（10-3月） 当初生産計画
直島製錬所	約111千トン	約98千トン
小名浜製錬所（当社分）	約50千トン	約44千トン
合計	約161千トン	約142千トン

2008年Gresik製錬所　電気銅生産実績

	2008年1-6月 生産実績	2008年7-12月 生産実績
Gresik製錬所	約113千トン	約142千トン

以上